

# 2012年10月 日本の稲作を守る会便り

今月配送のお米は

有機栽培米 玄米・白米 稲葉光國さん(栃木県上三川町)

次回11月のお米配送は11月3日(土)の予定です。都合の悪い方  
対応させていただきますのでご連絡ください。

## 24年産新米をお送りします。

栃木県上三川町のコシヒカリをお送りします。放射線量下限値10bqで測定して、「検出なし」のお米です  
ので安心してお召し上がりください。(転換中米はまだ集荷されておられません。今回は有機米でおめしあがり  
ください)

24年産のお米を生産してくれるのは次の方々です。

栃木県 笠井富夫(那須町) 杉山修一(塩谷町) 手塚政幸(宇都宮市) 柳沢隆弘(岩舟町)  
熊谷栄、藤田次男、寺崎文明、山田誠一、渡邊一夫 栗原重男(那須塩原市)  
石橋洋二、伊藤渡、古谷慶一(大田原市) 川俣将世 隅内俊光 鶴見武巳(上三川町)  
大橋秀光(小山市) 館野廣幸(野木町)  
稲葉農場(稲葉光國 川俣文人 田村祐一 梅津陽子 浦田優 秋吉新介 杉内清繁)

茨城県 郡司利一(水戸市) 篠崎毅(筑西市) 平田敬義(稲敷市) 永塚文男(古河市)

千葉県 鈴木擇(山武市)

滋賀県 梅村元成(高島市)

上三川町の万年青年 角田さん 増山さん 稲葉さん(80歳超)の御三方は23年産をもって米づくり  
第一線から退かれました。栃木県北でもお二人が有機農業を辞められました。せっかく無農薬無化学肥料で栽  
培してきた田んぼを慣行田にしてしまうのはもったいないのですが、それぞれのご家庭と後継者の思いもあ  
りて、いたし方ありません。農業者の平均年齢が、65歳何か月と言われている今、あと10年もすると、安  
全な米を作ってくれるお百姓がいなくなるのではないかと思います。その時は外国の生産過程もよくわから  
ない安い米があるから大丈夫ということになるのでしょうか。先月にお配りした稲作オーナー制度を利用して、  
近未来に起こるであろう食料危機に備えられるのも一考の余地があるかもしれません。  
東京電力福島原発事故の影響はこれからも続きます。北関東や福島の有機農業は皆様のご支援なしでは息を止  
められてしまいます。現に麦、大豆の取引はまったくありません。関西系の生協や自然食品会社の取引も切れ  
ました。当会の会員さんもそれぞれご事情があることはと思いますが、会員数の右肩下がりの状況は止まりま  
せん。私ども生産者はここ10年が踏ん張り時と除染を兼ねて油脂作物を育て油を搾ったりしながら 皆様に  
安全安心の農産物をお届けしようと頑張っております。どうぞ24年産米もご支援ください。

## 高校生インターシップ活動を受け入れて

栃木県では中、高校生の校外学習の一環としてインターシップ制度を取り入れていています。将来を見据えての職場  
実習です。今年も9月10日から一週間 真岡北陵高校の2名の生徒が稲葉農場にやってきました。この時期  
稲作農家の仕事は目立ってなく、ただ畦草を刈る仕事しかありません。農場では6町歩の大豆畑の中耕に失敗  
して人力で除草しました。昨年は2日ですんだのですが、今年は3週間にも及んでしまいました。高校生も研  
修生と共に草むしりが大半の実習で、有機農業のイメージダウンとみなして嘆いておりました。農業に絶望さ  
せないで学校に戻ってもらうという責任が受け入れ側にはあります。そんな心配をよそに大変すばらしい感想  
文が届いたで、学校の許可をいただきここに転載しました。一読をおねがいたします。